

日一日... 刊日... 日三十二月八

### 刻々迫る縣議選

#### 愈々第二期實戦へ

#### 鞏固な結束を誇る民政派も

餘すところ愈々今日から数え、三十日文字通り目前に迫つて来た縣議選に、郡下政界は第一期工作戦から早くも第二期の實戦開始へ急歩調の進展を示して来た。先ず相対立する民政派と、郡下選戰線を一瞥して見る。

縣議定員六名中四名を擁立して、對立的優勢を誇る民政派は、公認三名を決して居り、現議員秋原義雄、草野三郎氏各も再出馬の意志を示し、大勢も問題なく公認の形勢を示して居り、既に一切の準備工作を了したと傳へられるが、石川徳壽氏の優退亦確定的で、これに代るに何人を選ぶか比佐氏を中心に必死の工作を試みてゐるが、部會派の擁立せんとする勿來町小松義氏は依然周囲の事情から起意を表明せず、植田町坂本徳太郎氏は起意充分だが、大平陸四郎氏擁立の工作も可成巧妙に行はれ、比佐氏の深らざる處でも、比佐對野崎の關係から大平氏の公認は比佐派の重鎮たる野崎昇氏を以つて大平氏の出馬を抑さへんとする策謀もあり、流石に強固な統制を誇る民政比佐派も、郡南方部から公認する一名を何人にするかに悩んでゐる、民政の別動隊野崎派は問題

### 情痴の年増女房

#### 仇し男を駆落ち

#### 世間態を恥ぢて逃避行

平町長崎町青物商八木澤茂右衛門妻セツ(西丸)は年にも恥ぢず、嫁ねて神谷村大字中野勇(三三)と言ふ十三も年下の男との眼を忍んで情交を重ねてゐた事、此の程夫茂右衛門が知り、二十一日夜九時頃夫から叱責された事から口論となり、果ては夫婦とも片肩披ぎとなり、つて大立廻りとなり、果外まで喧嘩戦線を延長して路上に物凄い大喧嘩を繰り返すが、つてに散策したる人達が、雲集大も喰はない夫婦喧嘩にとつち

### 果樹聯合組合員の

#### 東都各市場視察

#### 農會の指導で活躍準備

石城郡聯合果樹組合では今二、十三日午前五時半、露出後、左記組合員十四名を内田郡農會記引中央に於ける築地、神田、江東各市場から東京農大農場及び多摩川緑地農場(梨園)等を一泊二日の旅程で視察に

### 郷土史抄

#### 遺影を偲ぶ

松井君墓碑銘  
君諱秀簡、字廉夫、通稱兵馬、六世祖、市左衛門、天和中、始仕我本多侯、老兵

### 土浦水利の

#### 鮫川視察

次城縣土浦町の農業水利組合幹部十二名は同組合管理者であつた本縣農務課長を訪問し、遠方面の水利事業を視察し、昨夜飯坂町に宿泊し、二十三日歸縣の途上石城郡鮫川水利の復舊工事を視察し、同工事出所所長その他から事業に關する詳細なる説明を受け、植田町に於て地元組合の慰勞を受けて午後同地復歸町した

### 巧みに詐取

#### 少年の悪事

平町白銀町五居住村山三郎次男(二〇)假同...は去七月二十六日同町驛前寫眞機販賣店井上讓三氏から寫眞機一合十、八圓六十銭を後刻金を取りに來てくれと稱して騙取その後、屢々代金を督促したが一文も

### 農民から騙り取る

#### 悪外交員檢舉

前金なら半額にしてやる、農具を種に荒し廻る、昨年九月頃、郡内山間部方面に特許C-10式脱穀機の特許權を譲渡した、稱して五十圓の脱穀機を前金なら半額二十圓で賣買の契約を結んで、渡村大字下市置農部事務所外十數名から二十五圓づつ詐取してゐる者あり、頗るたる被害

### 卒業學

#### 業後就職口なく

青年悲觀の家出  
暮參に歸郷の前夜に、當時東京市瀧之川區西ヶ原九三四居住鹿島村大字下藏持字戸の口生れ三島安秀弟康弘三は去十二月舊盆で實兄とも途中心目で、或は一人死の、墓のため歸郷する事になつてゐたが、前日郷の工合が

直營の中央卸賣市場となりたるを見學の上、來九月下旬頃から、非々出荷する梨の販路に活躍せんが爲である、組合名と視察員内録一上(一以上)

好間三、北好間一、中好間一、好間村上野一、平窪一、下小川關場一、同樂原一、下小川二、南赤井一、神谷(一以上)

私には内郷村の百姓です、から平町の地下探掘問題には全然關係があり、ませんが、平町で地上の障害を心配することは、もつともだと思ひます、△學理的にと技術的にと、公私共業人には、そんなことは一向に判りませんが、私共被害を受ける居るものから云へば、炭礦屋が唱へる素人からまかしの學問だと思ふ外は、ありません、なせかと申せば、實際問題に少しも合はざること、を云つて、鐵山監督局その他の役人様と云ふ人々に、其れが通るから、す田畑山林宅地を能の背中の形のように割れかして置きながら、其れが技術上とか科學上からと云つて、濟むから、なんです、△先ん送つて、平町の地下問題で、仙台か、監督官が調査に來た時、その前の日です、警備隊では各所の地上の龜裂や陥没に、人夫を出して埋めたり、たたりたりと、均らして、うまくこしらへ上げたのを、私共がチャント知つて居ります、彼れが技術的と云ふもの、なんです、△御社の記者様と云ふ方が、私共の災害地まで來て、これから警備隊で掘つて、だけ調べて置く、と云はれた、うです、が、ホントに、私共の味方だと思ひます、お出で下されば、御案内もしますが、何時もお出でになりませう、(内郷村の土音)原文のまゝ、

何時頃かと云ふ約束は出、來かねますが、行つた際は、御危分になります、精々被害の場所を見て置いて頂きます(係)

# 果樹栽培

是からの  
果樹栽培  
(上) 人真似をやめて  
地方色を生かせ  
計画の大轉換を奨めたい

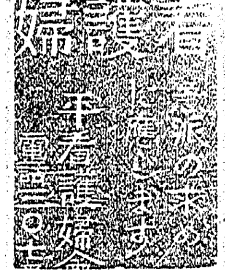
いままでの果物生産家は批評なしに無茶に種類を取入れて此の中何が一番適するかを試すことを半ば道楽気分で行った嫌ひがなかつたでもないが是からはこれを清算して本気で経営せなくてはなるまいと思ひます。またこれに何か一つ成功した人があつたら直ぐに之れを真似る、其の人真似と云ふことが結局は共倒れの憂き目を見る、斯んなことは判りきつた事なのだが不思議に理解されずに幾度も繰返されて來てゐるのだから茲で一番覺醒して自分の地方には何が最も適するかと云ふことを認識して調所適地主義に大方針を通すべきだと思ふのです。

一つの例を挙げると温州みかんは和歌山で人氣を呼び廣島で成功したのですがこれを聞くや何所でもみかんは温州とまねて現在では神奈川縣以西なら栽培せぬところはないぐらゐに温州みかん風が吹いてゐます、斯うなると結局温州みかんの洪水となりますから少くとも九州中部以南では他品種に改むべきだと考へます、此の傾向は單にみかんに限らず、梨なら二十世紀、柿なら富有と云ふやうに一色になつてしまふ、これが其の地方の風土に適する獨特の品種種類の栽培に

立ち退る計画を立つべきだと主張する根據なのです。この地方色を活かすことは共倒れから免かれるばかりでなく、商人消費者の立場から考へても有利な事になり生産者にとつては別な意味の販路開拓ともなります。

## 牛も豚も優良品の自慢

肉の御 平町 田町  
用命に 三三三



## 大森醫院

内科、小児科  
醫學士 大森 勇  
平町南町 電話三五八番

産科 長木村寅次郎  
婦人科 醫學博士 内木宗八  
外科 藥劑師 立蕃彌一  
平町新川町九  
入院隨意 木村病院  
病室完備 電話一六四番

内科、小児科  
外科、花柳病科  
耳鼻咽喉科  
レントゲン科  
平町田町 電話五一三番  
高久病院  
院長 醫學士 高久忠

目科療診  
一、齒科 一般  
保存科、補綴科、齒槽架工科、  
齒列矯正科、小兒齒科、齒槽膿漏科、  
二、口腔外科  
レントゲン科  
中野齒科醫院  
院長 日本齒科 醫學士 中野 惠次  
日本齒科 醫學士 西川 誠  
平町田町(松月堂向ひ) 電話五〇九番

清爽簡易な  
サンマードレス  
婦人用とお子さん用……  
特價品豊富陳列  
ツルヤ  
平四 電一四〇

新時 附屬事業に等外看護婦部を特  
代の 設いたし皆様の御用向へ身元  
要求 確實なる婦人を派出致します  
平町南町 會長 清野キヨ  
電話三〇七  
平看護婦會  
御手不足の御家庭輕  
い御病人の付添妊婦  
産婦の御家庭

洋服は  
高島屋  
注文並に既製品  
平町二丁目 電話三八六

秋物 入荷  
澤山  
高島屋洋服店

しづかに	食事の出来
る	正しい食堂
正しい	正しい酒場
正しい	正しい

平町 紺屋町  
藤沼醫院  
電 五〇七番

入院 應需  
明雲堂眼科醫院  
平驛前 電六六九番

安田系統の帝國海上  
帝國海上火災保險株式會社  
平代理店 關内正一  
平町二丁目 電話一六番  
事務取扱者 阿部助次郎

好評 たる各種優秀藥  
強力流經劑 (定價二圓、三圓、五圓、十圓)  
治淋新劑トリックス (定價二圓、三圓、五圓)  
A アイヨー錠 (定價二圓、六圓、二十圓)  
B トーゲン (定價二圓、三圓、五圓、十圓)  
特約店(平町五丁目通り) 山野邊藥局

高島屋  
優良品  
高島屋

石炭 水野石炭店  
平町郵便局通り  
電話二九九番